

障害のある幼児の小学校へのつなぎ
～ グッドスタートのために ～

くらしき作陽大学
松田真正

スムーズな就学のために
保・幼 ⇒ 小学校

保護者&担任&特別支援教育コーディネーター

(保育園3歳児から幼稚園4歳児頃から)



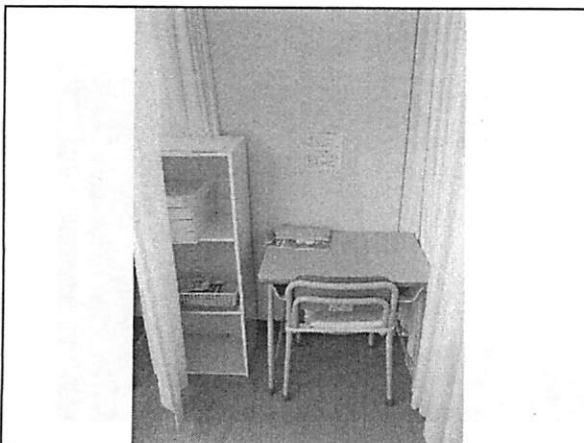
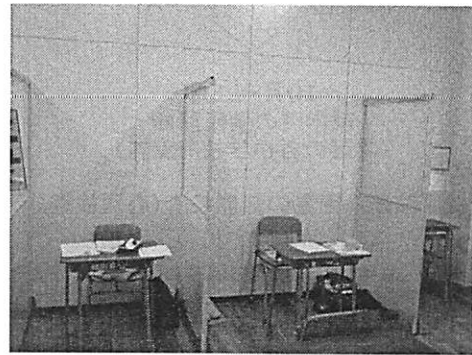
小学校の見学 (通常学級&特別支援学級)

* 5歳児の7月頃までに完了するのがベター



保護者&担任&特別支援教育コーディネーター)

* 就学希望先を決定 (10月上旬までに)



診断書等の保&幼稚園へ提出 (*コピーを提出)

- ① 自閉症スペクトラム等の障害名
- ② IQ情報 (療育手帳のコピーもOK)
- ③ どの程度の支援が必要かの医師の所見)

↓

市町村主催の 就学指導委員会 (2回~5回)

- * 園長や主任が出席することが多い
- * 専門委員が
 - ① 本人の実態 ② 保護者の願い
 - ③ 医師の診断書等 を総合的に判断し、
適正な就学先を検討する

↓

就学先が決定
例；自閉症・情緒障害特別支援学級が適当 など

↓

就学指導委員会の結果

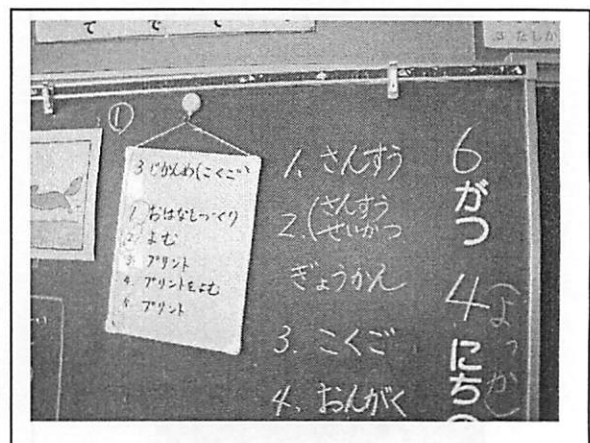
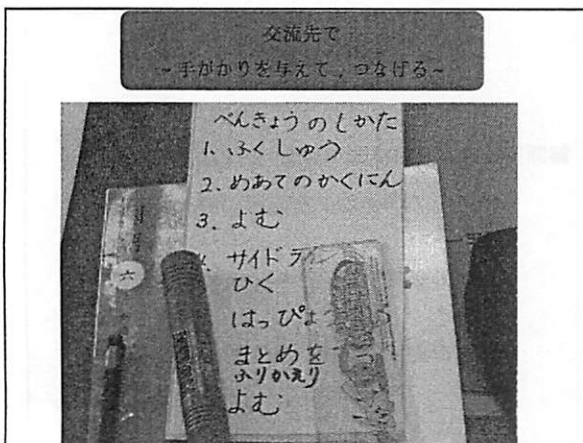
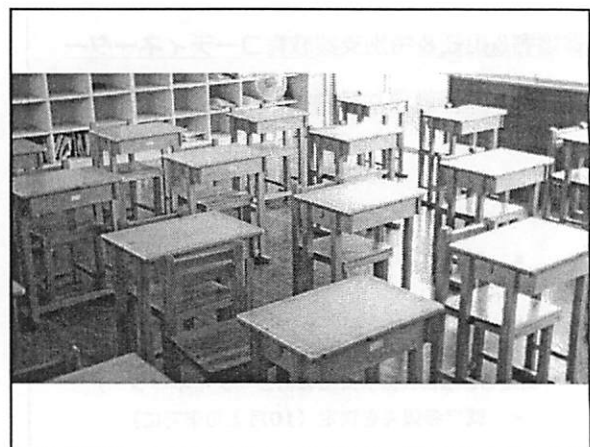
- * 保育園や幼稚園に連絡が入る
- * 保護者への通知 (無い地域もある)

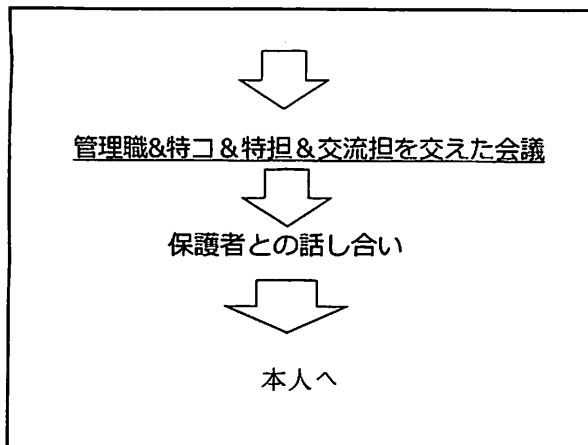
↓

**10月~11月
就学時の健康診断
(学区の各小学校で実施)**

健康診断+簡易の知能検査(心理検査)

- * ここまでの就学相談・ 就学指導委員会を受けた子ども
の情報は、市町村教育委員会と各小学校間で共有されて
いる。





本人への予告をどうするのか？

- * いかにかにポジティブな説明ができるかが大切
スクールイメージを大切に
- * 親&療育機関&保育園の説明の一貫性が大切

↓

卒園する3月頃

- * 通学路の確認を本人とする
(集団登下校も体験させると良い)
- * くつばこの位置、教室の位置
(クラスは未定)、 体育館
- * 担任情報は4月になってから

メリット・デメリット

通常級

【メリット】
一般的な集団の中で生活することができる

【デメリット】
個別のきめ細やかな支援に限界が

特別支援級

- ・メリット
1クラスあたりの人数は最大8人であり、学力面の個別対応が期待できる。
小集団の中で、ライフスキル（衣・食・住）が育てられる
小集団の中で、SSTやピアサポートが学べる
- ・デメリット
交流教育の頻度が下がると、集団への感覚が育ちにくい。
高等学校以降の心配、（特にグレーゾーンの子ども）
小規模校の場合は、保護者の孤立感が、

小学校への子ども情報のつなぎに
地域差がある可能性

- 保・幼・小連絡会だけに頼ってない？
- 保育園と幼稚園の間に差があるんじゃない？
- 個別の教育支援計画の受け渡しができていない？
- 保護者と保育士等の口頭による情報伝達だけ？

スムーズな就学のために
保・幼 ⇒ 特別支援学校

保護者&担任&特別支援教育コーディネーター
(保育園3歳児から幼稚園4歳児頃から)



各 小学校の見学&就学相談
各 特別支援学校の就学相談

* 5歳児の6月～10月頃までに完了する



* 就学希望先を決定（11月までに）

岡山県内の特別支援学校
学校公開・体験入学

- 各学校で開催日は異なる 6月上旬～11月上旬
平日のみ開催
- 本人・保護者が参加できる
- 学内見学&就学相談



診断書等の保&幼稚園への提出（*コピーを提出）

- ① 自閉症スペクトラム等の診断名の記載
- ② IQ情報（療育手帳のコピーもOK）
- ③ どの程度の支援が必要かの医師の所見

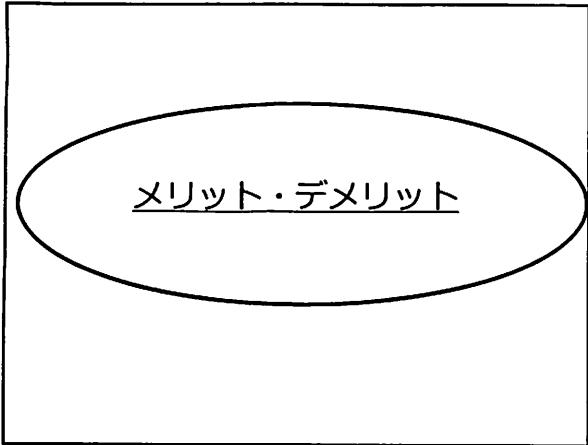


1月頃 岡山県教育委員会主催の
就学指導委員会



*

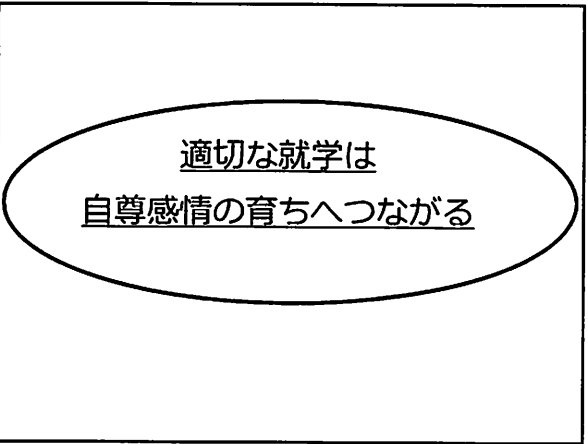
*



- 特別支援学校**
- **メリット**
 - * 小集団 (小学部の例 単一6人 重複3人)
 - * ライフスキル (衣・食・住) が育てられる
 - *
 - * 教職員への専門的な研修
 - **デメリット**
 - * 地域の同級生等との交流が減る傾向
 - *

- 特別支援学校**
- **メリット**
 - * 小集団 (小学部の例 単一6人 重複3人)
 - * ライフスキル (衣・食・住) が育てられる
 - * 「 」の時間を通して、身体の動き、コミュニケーション等が育てられる
 - * 教職員への専門的な研修
 - **デメリット**
 - * 地域の同級生等との交流が減る傾向
 - *

- 小学校は地域の**
小学校だけでも入学させるべきか？
- で悩む 保護者が多い
- 先輩保護者の情報は？
- 療育センターに就学相談に強い職員は？
- 相談先が散在しており 意見が違う？



- 基本的自尊感情**
- ありのままを認められる
 - 愛された実感
- 社会的自尊感情**
- できるようになったことが評価される
 - やり遂げた経験